年間授業計画 新様式例

高等学校 令和６年度　　教科　地理歴史　　科目　世界史探究

教　科：　地理歴史　　科　目：　世界史探究　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　1、2、3、7　組

教科担当者：梅原由紀子

使用教科書：（　詳説世界史（山川出版社）　）

教科　地理歴史　　の目標：

【知識及び技能】　現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに，調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】　地理や歴史に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】　地理や歴史に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の国土や歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目　世界史探究　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技術を身につけるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界との繋がりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したりしたことを説明したり、それを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	Ⅰ　諸地域の歴史的特質の形成 【知識及び技能】 ・オリエント文明，インダス文明，中華文明などを基に，古代文明の歴史的特質を理解させる。 ・秦・漢と遊牧国家，唐と近隣諸国の動向などを基に，東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質を理解させる。	1　文明の誕生 2　古代オリエント文明とその周辺 3　南アジアの古代文明 4　中国の古代文明 5　南北アメリカ文明 6　草原とオアシスの世界	【知識・技能】 オリエント文明，インダス文明，中華文明などを基に，古代文明の歴史的特質を理解している。 秦・漢と遊牧国家，唐と近隣諸国の動向などを基に，東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質を理解している。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	【知識及び技能】 ・仏教の成立とヒンドゥー教，南アジアと東南アジアの諸国家などを基に，南アジアと東南アジアの歴史的特質を理解させる。 ・西アジアと地中海周辺の諸国家などを基に，西アジアと地中海周	1　イスラーム教の諸地域への伝播 2　西アジアの動向 3　西ヨーロッパの封建社会とその展開 4　東ヨーロッパ世界の展開 5　西ヨーロッパ世界の変容	【知識・技能】 仏教の成立とヒンドゥー教，南アジアと東南アジアの諸国家などを基に，南アジアと東南アジアの歴史的特質を理解している。 西アジアと地中海周辺の諸国家などを基に，西アジアと地中海周辺の歴史的特質を理解している。	○	○	○	17
	定期考査			○	○		1
2学期	Ⅱ諸地域の交流・再編 【知識及び理解】 ・西アジア社会の動向とアフリカ・アジアへのイスラームの伝播，ヨーロッパ封建社会とその展開などを基に，海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりを構造的に理解させる。	1　イスラーム教の諸地域への伝播 2　西アジアの動向 3　西ヨーロッパの封建社会とその展開 4　東ヨーロッパ世界の展開 5　西ヨーロッパ世界の変容	【知識及び理解】 西アジア社会の動向とアフリカ・アジアへのイスラームの伝播，ヨーロッパ封建社会とその展開などを基に，海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりを構造的に理解している。 宋の社会とモンゴル帝国の拡大など	○	○	○	18
	定期考査			○	○		1
	【知識及び理解】 ・宗教改革とヨーロッパ諸国の抗争，大西洋三角貿易の展開，科学革命と啓蒙思想などを基に，主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大を構造的に理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】	14　ルネサンス 15　宗教改革 16　主権国家体制の成立 17　オランダ・イギリス・フランスの台頭 18　北欧・東欧の動向 19　科学革命と啓蒙思想	【知識及び理解】 宗教改革とヨーロッパ諸国の抗争，大西洋三角貿易の展開，科学革命と啓蒙思想などを基に，主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大を構造的に理解している。 【思考・判断・表現】 諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
3学期	Ⅲ諸地域の結合・統合 【知識及び理解】 ・国際的な分業体制と労働力の移動，イギリスを中心とした自由貿易体制，アジア諸国の植民地化と諸改革などを基に，世界市場の形成とアジア諸国の変容を構造的に理解させる。	9　西アジア地域の変容 10　南アジア・東南アジアの植民地化 11　東アジアの激動 12　第2次産業革命と帝国主義 13　列強の世界分割と列強体制	【知識及び理解】 第二次産業革命と帝国主義諸国の抗争，アジア諸国の変革などを基に，世界分割の進展とナショナリズムの高まりを構造的に理解している。 第一次世界大戦とロシア革命，ヴェルサイユ・ワシントン体制の形成，アメリカ合衆国	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1 合計 82